

最先端のお話を出前します。ぜひお越しください。

千葉大学法経学部でまえ公開講座

「地域と大学との交流・連携」

日時

平成21年11月28日(土)
13:20~17:00

会場

木更津市立岩根公民館
申し込みは当日会場にて受付

入場
無料

主旨

千葉大学法経学部では、平成18年度より従来、学内で開催してきた公開講座に加えて、県下の自治体で公開講座を実施し、地域と大学との交流・連携を深めていくため一般市民に向けた講義を行います。その平成21年度でまえ公開講座を下記により実施いたします。

〈後援〉木更津市・木更津市教育委員会



プログラム

時間	講義題目	講師等
12:50~13:20	受付	
13:20~13:30	ご挨拶	木更津市立岩根公民館長 礒貝 幸雄 青少年育成岩根東地区住民会議会長 安藤 小平
13:30~15:00	「人生前半の社会保障」と コミュニティ政策 これまでの社会保障は高齢者関係が中心だったが、現在では失業率が高くなるのは若年層で、教育を含め人生前半の生活保障を充実する必要がある。今後の地域コミュニティのあり方を含め、幅広い視点から今後の日本社会の方向を考えたい。	千葉大学 法経学部教授 広井 良典
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:40	グローバル時代のまちづくり — 「わかもの」と「よそもの」が拓く地域社会 — グローバル化の進む現代は、個性ある地域や都市がせめぎあう時代でもある。 都市文化の花開いたオランダの例を念頭に、今の日本の都市で可能なことは何か、講演者のまちおこし活動への参加経験も踏まえ考えたい。	千葉大学大学院 人文社会科学部教授 水島 治郎

【講師プロフィール】



広井 良典
(ひろい よしのり)

1961年 岡山県生まれ。

1984年 東京大学教養学部卒業(科学史・科学哲学専攻)。同大学院修士課程修了後、1986年から1996年まで厚生省勤務。1996年より千葉大学法経学部助教授。

2001-2002年マサチューセッツ工科大学客員研究員。2003年より千葉大学法経学部教授。

専攻は社会保障論及び公共政策。

主な著書

『持続可能な福祉社会』(ちくま新書)、『定常型社会』、『日本の社会保障』(以上岩波新書)、『生命の政治学——福祉国家・エコロジー・生命倫理』(岩波書店)、『ケア学』(医学書院)、『死生観を問いなおす』、『ケアを問いなおす』(以上ちくま新書)、『医療の経済学』(日本経済新聞社)等。最新著書としては『コミュニティを問いなおす』(ちくま新書、2009年)。



水島 治郎
(みずしま じろう)

1967年 東京都生まれ。

1996年 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得満期退学。

1999年 博士(法学)(東京大学)。

甲南大学法学部助教授、千葉大学法経学部教授を経て2009年より千葉大学大学院人文社会科学研究所教授。

専攻はヨーロッパ政治史。

主な著書

『戦後オランダの政治構造—ネオ・コーポラティズムと所得政策—』(東京大学出版会、2001年)

会場のご案内



お問い合わせ先

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1番33号

千葉大学法経学部学務グループ

電話 043(290)2350

FAX 043(290)2372

E-mail bhgakumu@office.chiba-u.jp

【会場】 木更津市立岩根公民館
木更津市高柳3-2-1 TEL 0438-41-1184